

志の言の葉（第3集）

～大切な人に伝えたい私の思い～



志布志市教育委員会 編

はじめに

志布志市教育委員会

『志の言の葉く大切な人に伝えたい私の思いく(第三集)』として作成を進め、ここに完成しました。皆様にお届けできることを大変うれしく思います。

本文集には、市内の全小学校・中学校から選出された小学一年生から中学三年生までの子どもたちの百四十七点を掲載しています。さらに、今回は、地域の方や保護者からも募集したところ十五点の応募がありました。この中には、大切な人に伝えたい思いや言葉があふれんばかりに綴られています。

いつも愛情いっぱいに励ましてくれる親への感謝、

頑張っている家族へのエール、

時に厳しく時にやさしく導いてくれる先生への感謝の思い、

何気ない一言が助けとなった友達への感謝、

わが子への温かいメッセージ、

見守ってくださる地域の方への感謝の思い、など。

綴られた数々のメッセージを読んでいただき、今を生きている志布志市の子どもたちに思いを巡らしていただきたいと思えます。そして、志布志市の子どもたちに温かいまなざしで、時に励まし、時に戒めの言葉を届けつつも、期待をかけていただきたいと願っています。この文集が、明日への元気と豊かな未来づくりへの小さな一歩を踏み出すきっかけにでもなれば、誠に幸いです。

令和六年三月吉日

目次

はじめに

保護者へ
・
・
・
・
・
・

P
1

）

P
23

家族へ
・
・
・
・
・
・

P
24

）

P
34

先生へ
・
・
・
・
・
・

P
35

）

P
39

保護者から
・
・
・
・
・
・

P
40

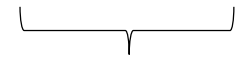
）

P
42

地域の方へ

夢や目標

友人へ



・
・
・

P
43

）

P
53

編集後記

保護者へ



お母さんへかんしゃのきもち

松山小学校四年

まず、ぼくを産んでくれてありがとうございます。
いつもおいしいごはんを作ってくれて、せんたくものなどいろいろしてくれてありがとうございます。ぼくが病気になったときも毎日、いっしょにいてくれて、「大じょうぶだよ。」
いつもはげましてくれたお母さんが大好きです。言うことをきかなかつたり、お姉ちゃんとかけんかしたりしておこらせてしまいますが、みんなとなかよく、これからもたくさんお母さんの手伝いをしていきます。

お母さん

松山小学校五年

ぼくは、いつもは、はずかしくて「ありがとうございます。」と素直に言えないけれど、感しやの気持ちでいっぱいです。
お母さんは朝早く起きてお弁当を作ってくれたり、お仕事が終わって帰ってきたらゆつくりするひまもなく夜ご飯を作ってくれたり、色々なことを全部してくれれます。そんなお母さんを見て、毎日家族のために一生けんめいがんばってくれていてすごいなあと思います。ぼくは、あまり言うことを聞かないですが、これからは、素直にお母さんの言うことを聞いて、常に感しやの気持ちをもって生活したいです。いつもありがとうございます、お母さん。

ありがとうじゃ足りないくらいの感謝

松山小学校六年

ぼくが母に思っていることは、「ありがとうという一言では全然足りないくらいの感謝の気持ち」と言うことです。なぜこのようなことをずっと思っているかと言うと、ぼくを産んでくれて大切に育ててくれたからです。そして、気分が悪い時は、心配し、病院につれて行ってくれたり、欲しいものは、買ってくれたり、世界一位のおいしいごはんを作ってくれたりなど、もつともつとあるけれど、ぼくは、こんな幸せな生活が続いてくれるとうれしいです。ぼくのために色々なことをしてくるお母さん、ありがとうじゃ足りないけれど、いつもありがとうございます。そして、ぼくを産んでくれてありがとうございます。

いつもありがとう

泰野小学校二年

毎朝、ぼくがおきると、ごはんをつくっているおかあさん。しごとのじゅんびをして、いそがしそうです。しごとをがんばっているから、すごいと思っています。ベキよの分からないとこころは、おしえてもらっています。

ぼくが、うんどう会で、れんしゅうをがんばっているところを見てほしいです。ながなわや、なわとびをがんばっています。じょうずになっているところも、見てほしいです。

おかあさんのこと大すきだけど言える日もあれば、言えない日もあります。いつもありがとう。

ファイトお父さん

泰野小学校三年

ぼくは、いつも朝早くから仕事をして夜おそくまではたらいしているお父さんがとてもかっこいいです。なかなか話せるきかいがなくて、ぼくはつかれがとれるか心配いです。

ときどきおこってこわい時もあるけど、いつも学校ではえ顔でみんなと話している時もある、いつもかっこいいです。

いつもはなかなか言えないけど、毎日朝早くから仕事をしているお父さん、これからもがんばってね。ファイトお父さん。

ありがとう

泰野小学校四年

いつも、おいしい料理を作ってくれてありがとう。わたしが好きなのは、ナンです。大きなナンを作ってくれます。

わたしの話を聞いてくれてありがとう。わたしが言いたいことをちゃんと聞いてくれて、わたしは元気になるよ。

わたしは、お手伝いをがんばるよ。今までありがとう。これからも、ずっとずっといっしょにいてね。



ぼくを大切に育ててくれたお母さん

泰野小学校五年

ぼくは、ぼくのことを大事に育ててくれたお母さんの事が大好きです。休日はよくお出かけに連れて行ってくれたり、平日で、仕事帰りでもかかさずにぼくのことをしてくれたりするお母さんをそんけいしています。いろいろな話や相談にのってくれます。

おこる時はしっかりおこって、ほめてくれる時はほめてくれます。やさしくて、強くて、いっしょけんめいなお母さんは、かっこいいです。

世界にたった一人しかいないぼくのお母さんは、ぼくの誇りです。
お母さんの事、ぼくは大好きです。もっともっと長生きしてね。

大好きなおとうさん

尾野見小学校二年

おとうさん、いつもおしごとがんばってくれてありがとう。毎日、朝五時からおきてしごとに行くお父さんはすごいです。休みの日は、いろんなところにつれていってくれます。夏休みは、あまみ大しまへつれていって来てありがとう。川や海であそんで、とつてもたのしかったよ。カヌーもおもしろかったよ。お父さんは、よくお母さんといっしょにごはんをつくってくれます。わたしは、ピーマンの肉づめが大好きです。お父さんがハウスで作ったピーマンは、すごくおいしいよ。わたし、こんどまたおてつだいするから、もっとおいしいピーマンをつくってね。いつもありがとう。

大切なお母さんへ

尾野見小学校三年

いつも、やさしくしてくれてありがとう。しゆく題を教えてください、せんたくやそうじもしてくれたりして、うれしいよ。

わたしが作るのがむずかしいりよう理をいっしょに作ったとき、わたしはしっぱいしちゃうけれど、お母さんが作るとしっぱいしないで上手においしく出来あがるので、「こんなに上手に作れるなんてすごいな」と思いました。

お母さんは、仕事も家事もがんばっていてすてきです。わたしもお母さんみたいな「お母さん」になるのがゆめです。

ありがとうお父さん

志布志小学校三年

ぼくの、お父さんは、バイクにのります。そのえいきょうもあり、ぼくもバイクがすきになりました。後ろにのって、ドライブにつれて行ってくれます。ぼくは、この時間が、とても大すきです。お父さんが、バイクのエンジンをかけ、ぼくが、ジーツと見ていると、「のるのか？」と、言ってくれて、ぼくが、ドライブに行きたいのが、すぐバレてしまいます。今の時期、とても風が気持ちいいです。

ぼくも、大人になったら早くバイクの、めんきよをとって、おとうさんと一しょにツーリングに行きたいです。

おとうさん、いつもありがとう。

お母さんありがとう

志布志小学校五年

お母さん、私を産んでくれて育ててくれてありがとう。おかげで私は大きく育ちました。私のために仕事もがんばって家に帰ってからはご飯を作ったり、洗たくしたり、毎日いそがしくしているお母さん。

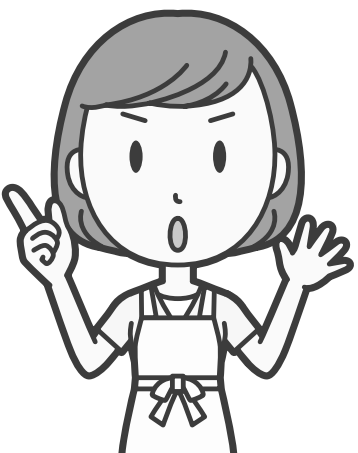
私が熱を出したらとても心配してくれて、さいほうで分からない事を教えてくれて、すごく感謝しています。

私も大人になったらお母さんにおん返しをしたいです。お母さん、ありがとう。

きびしい言葉の意味(母へ)

志布志小学校六年

私は、何をやってもろのろと行動していることが多い。その時に注意されて私が悪いと分かっているけど、ついいやな顔をしてしまいます。それでもずっと注意しつづけてくれている理由は、私が大人になって困らないようにと頭では、分かっています。素直にきけない自分がすごく「いや」になります。いやな顔をしてしまって「ごめんなさい。」「いつも注意してくれてありがとう。」「もっと素直になるようにするね。」と言いたいです。



わたしのおかあさん

香月小学校二年

わたしのおかあさんは、はたらきものです。早おきしておべんとうをつくり、わたしたちをおこして、いつてらっしゃいをしてくれてしごとに行きます。かえってきたら、ごはんをつくってせんたくをしておふろに入ってごはんをたべて、かたづけをしてわたしたちをねかせてくれます。

しごとでつかれていてもまい日おいしいごはんをつくってくれます。

だれよりも早くおきてだれよりもおそくねます。おてつだいしてと言われてもめんどくさいとおもっていました。

これからは、わたしがたくさんおてつだいをしておかあさんをたすけてあげたいです。

「おかあさんいつもありがとうございます」

おかあさんそだててくれてありがとうございます

香月小学校三年

おかあさん、あかちゃんから三年生まで、そだててくれてありがとうございます。ぼくは、おかあさんのことを考えたら大へんだろうなと思います。学校がえりによりみちをしてしんぱいさせたり、ごはん中にあそんでおこらせたりたくさんしました。だけどつぎはぜつたいにしないというやくそくをして、やさしくゆるしてくれました。でも、ぼくはそのやくそくをやぶってしまうことがたくさんありました。これからは、おかあさんにおてつだいをたくさんして、おんがえしをしたいと思います。一ばん大へんなぞうきんがけもして、おかあさんをよろこばせたいと思います。おかあさん、これからも、ぼくをそだててください。

お母さんありがとう

香月小学校五年

わたしの、お母さんは、とても最高です。

理由は、たいへんなときでも、私と妹のおべんとうを作ってくれたり悪いことをしたりすると、おこつてくれるからです。私は、お母さんが、おこつたら、めんどくさい、やだやりたくない、妹がやったなど、人のせいにして、お母さんへ、くちごたえをして、自分は楽だけど、お母さんは、おこる方がたいへんなことに気づきました。だから私は、そういう自分の悪い部分をやめて、お母さんを、とても大切にしようと思いました。お母さん大好きだよ。

お母さんへ

香月小学校五年

いつも、ごはんや、バレーの練習の送りむかえをしてくれてありがとう。そしてバレーのし合も見に来てくれて、うれしいよ。

わたしがバレーや、いやなことがあった時、すぐにお母さんは、「どうしたの。」と言ってくれて、安心するよ。わたしは、大人になったらお母さんみたいになりたい。お母さんみたいに、心のやさしい人になりたい。そして、がんばったときは、すごいねと言ってくれて、けがをしたときなどは、すぐにだいじょうぶと言ってくれるのですごくうれしい。

わたしは、そんなお母さんがすごく大好きで私の一番大切な人。これからも、わたしの味方でいてね。大好きだよ。

お母さんいつもありがとう

香月小学校六年

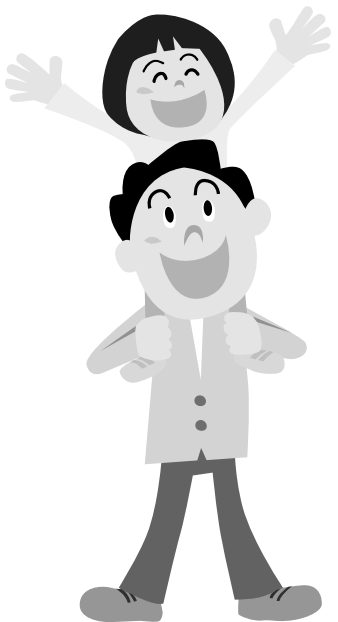
「ありがとう」
ぼくは、お母さんに、言いたいけれど言えない言葉。いざ、言おうとしても絶対に言えない。

心の中では、「ありがとう」と思っているのにお母さんを前にしたら頭の中が真っ白になる。だから、これから母の日に心をこめた手紙をわたすから楽しみにしててね。

ありがとう、お父さん

潤ヶ野小学校二年

いつも、あそんでくれたり、夜おそくまでせんたくものをたたんでくれたりしてくれてありがとう。わたしがびょう気になった時に、しんぱいしてくれてとてもうれしいです。おしごとがんばってね。わたしは、お父さんのことが、すっごく大好きです。これからもおせわがんばってね。わたしもがんばるよ。



おかあさんのとくいりょうり

安楽小学校二年

おかあさん、いつもおいしいりょうりをつくってくれてありがとう。
今日のりょうりは、何かな。ママのたまごやきは、ふわふわであまくておいしいよ。
そして、コンソメスープもおいしいよ。とくに、だいこんはあじがしみこんでいてす
きだよ。

たまにでてくるパンやおにぎりもおいしいよ。弟と、

「おかあさんのりょうりおいしいね。」

と言っているんだよ。

いつも、いそがしいのにおいしいりょうりをつくってくれてありがとう。

生まれるとくいりょうり

安楽小学校三年

さい近、お母さんに教えてもらったことがあります。それは、ぼくがお母さんのお
なかに来る前に、もう一人赤ちゃんが来ていたということです。そのもう一人の赤ち
ゃんは、大きくなる前に死んでしまったそうです。そして、ぼくが生まれました。お
母さんは「もう一人の赤ちゃんがいたから、ぼくと出会えたんだよ。」と言っていま
した。それを聞いてぼくは、「子どもが生まれるってきせきなんだなあ。ぼくをお母
さんと出会わせてくれてありがとう。きみのことをわすれずに、たくさんしあわせに
なるからね。」と思いました。

お母さん、ぼくを生んでくれてありがとう。

お父さん、お母さんの子どもでしあわせです。

うまれてきてからずっと

安楽小学校四年

うまれてきてからずっとそばにいてくれてありがとう。

サッカーの試合で遠いところに連れていってくれたり、友達と遊ぶときにいいよっ
と言ってくれたりいろいろありがとう。

赤ちゃんのときは、病気だった私をずっと見守ってくれたお母さん、私をうんでく
れてありがとう。

いうことをきかないときはおこってくれたり、泣いたときは、なぐさめてくれたり
してくれるお母さん、世界一のお母さん、おん返ししたいな!!

お母さんとお父さんへ

安楽小学校四年

お母さんとお父さんは、いつも私たちのために家事をしてくれたり、お仕事をがんばってくれたりします。

お母さんは、毎日家事をしてくれます。せんたく物をしてくれたり、ごはんを作ってくれたりします。お母さんありがとうございます。

お父さんは、いつもお仕事をがんばってくれます。お仕事でつかれているのに、さあらいをしてくれたり、ほかにも色々してくれたりしています。お父さんありがとうございます。

私は、お母さんとお父さんがいてくれるととてもうれしいです。

そしてたくさんのお手伝いをして、お母さんとお父さんをよろこばせたいです。

お母さんお父さんいつもありがとうございます。

いつもありがとう

安楽小学校六年

お母さん、いつもありがとう。仕事や家のこともあるけれど、いつも優しく接してくれたり私の相談を聞いてくれたりしてありがとう。おかあさんは、いつもおいしいご飯作りや家のそうじなどをしてくれます。時々、言うことを聞かないで自分勝手にすることがあって、ごめんなさい。でも、お母さんのことはすごく尊敬しているし、お母さんみたいに料理が上手になりたいなと思っています。これからもたくさん迷惑などをかけてしまいかもしれないけれど、あたたかく見守ってほしいです。お母さん、これからもいっしょに料理作ろうね。

父との大切な時間

田之浦小学校五年

私の父は、重い荷物をひょいっと持ち、配達する仕事です。父の体、手、足はキン肉でガチガチです。そんな父がヘアドネーションにチャレンジしていた私の長いかみの毛をむすんでくれました。本当はうれしかったのに、はずかしくてす直に「ありがとう」が言えませんでした。かがみで見ると私のツイントールは、左右高さも、量もちがいました。でも、私は、うれしくて、うれしくて何度もかがみを見たり、ぼうしをかぶる時も、くずれないようにゆっくりやさしくかぶったりしました。父とは朝しか話す時間がありません。私は、この時間が大好きです。「お父さん、またかみの毛がのびたらむすんでね。私はお父さんが大好きです。いつもありがとうございます。」

おとうさんありがとう

伊崎田小学校一年

ぼくは、おとうさんがだいすきです。おとうさんのすきなところは、チャーハンをつくってくれることです。チャーハンがとてもおいしいです。

おとうさんのやすみのときは、バーベキューにつれていってくれます。みんなでたべるバーベキューはおいしいです。これからもおとうさんとごはんをたべたいです。

おとうさんいつもありがとう

伊崎田小学校二年

ぼくはソフトボールをしています。六年生になったらキャプテンになりたいです。そのためにおとうさんが、夏にれんしゅうにきょう力してくれました。いっしょにキヤッチボールをしたりバツティングれんしゅうをしたりしています。

このまえのしあいでは、はじめてのヒットをうちました。うれしかったです。秋からは、一人でれんしゅうしています。つぎのし合では、たくさんヒットをうちたいです。

お父さん、お母さんありがとう

伊崎田小学校五年

はやい時間から、いつもソフトの大会につれていって来てありがとう。いつも、ぼくたちのためを考えて、しかつてくれてありがとう。洗たく物をたまなくて、ごめんなさい。ぼくは今、縄とびの、三重とびを目指しています。なので、時間があるときは、動画をとつて、アドバイスをください。いつもありがとう。

お父さん、いつもありがとう

伊崎田小学校六年

お父さん、いつもおいしい料理を作ってくれてありがとう。ここまで、成長できたのはお父さんがいてくれたからだと思います。悪いことをしたときも、しかつてくれてありがとう。心も少しは成長できたと思います。お父さんは、とてもやさしいです。しかるのも私を思ってくれてるからだと思います。お父さんは、仕事も、いそがしいのに、毎日おいしい料理をつくってくれて、本当に、感謝しています。いつも早起きしてがんばっているのに手伝わなくて、悪いと思っています。料理は、少しできるよようになったから、家のことだけでも手伝います。それで、少しはお父さんの役に立てたらうれしいです。これからも、よろしくおねがいします。

お母さんへ

蓬原小学校三年

お母さん、わたしがおなかにいるときは、お母さんのおなかをけっていたと言っていましたね。早く生まれていのかたと声をかけていたと教えてくれました。わたしは、お母さんのおなかにいるときから、大切に育ててもらったのだと思うと、うれしくなりました。

入学したときは、まだ小さかったけれど、三年生の今は、ぐんぐんせがのびています。べん強もできることがふえています。走るのも速くなってきました。

これからもいろいろなことをがんばります。お母さん、わたしを大切に育ててくれてありがとうございます。

いつも手をふってくれてありがとうございます。

蓬原小学校四年

お父さん、いつも仕事がいそがしいのに私たちに元気な声で「いってらっしゃい」と言ってくれて私は、とても元気ができます。

お母さん、いつも家の家事がとてもいそがしいのに、わざわざとちゅうまでいっしょに歩いてきてくれてずつと手をふってくれていてありがとうございます。

私も大きくなったらお父さんとお母さんみたいになりたいな。

ありがとうございます

野神小学校四年

お母さん生んでくれてありがとうございます。いつもめんどうみてくれてありがとうございます。ほ育園や学校に入れてくれてありがとうございます。おかげで、いろいろなけんやまなぶことができましたよ。ありがとうございます。これからも、よろしくおねがいします。

いつもありがとうございます

野神小学校五年

「宿題終わったの？」

ぼくが学童から帰ると、お母さんの声が聞こえた。

「終わったよ」カバンを机の上に置きに行った。

すると、「手あらいうがいもしてよ。」と

またお母さんの口ぐせだ。

でもそのおかげで、宿題も忘れないし。

父さん母さんありがとう

野神小学校五年

わたしのために毎日仕事やわたしたちの送りむかえ、それに洗たくまで、ほかにもいろいろしてくれて、ありがとう。とつてもかんしゃしています。これからは、自分ができることをふやして、父さん母さんがちよつとでもらくになれるようにわたしががんばります。

お母さんとお父さん

野神小学校五年

わたしは、お母さんとお父さんにすごく「ありがとう」と思っています。わたしは、お母さんとお父さんが、いそがしいのにあまえたり、わがママを言ったりしています。でも、お母さんとお父さんが大変だと思うことを、分かっています。まだ、お母さんとお父さんが大変だと思うことは、いっぱいあると思います。自分は、それに、こたえようと思いません。今は、あまりわがママをいったりしていませんが、お母さんとお父さんのてつだいをしようと思います。お母さんお父さんいつもいっしょにしゃしています。仕事などいろいろな時、わたしがおうえんしているのでお母さんお父さんがんばってください。わたしもがんばります。二人とも大好きです。

いつもありがとう

野神小学校六年

お父さんお母さんいつもありがとう。
お父さんいつもぼくのサッカーを教えてください、心配したり、おもしろいことをしてくれてありがとう。

お母さんいつもおいしいごはんやせんたくや、ぼくのサッカーをおうえんしてくれてありがとう二人の子どもでよかった。



ありがとうございます お母さん

野神小学校六年

お母さん、私を育ててくれてありがとうございます。おこられたり、笑ったり宿題を教えてくれてありがとうございます。いつも家事や、仕事があるのに私の話を聞いてくれてありがとうございます。

毎日ご飯を作ってくれてありがとうございます。とてもおいしいご飯だよ。

六人家族で人数が多いのに育児を毎日してくれてありがとうございます。

私は、もう六年生になりました。来年には中学一年生です。これから、よろしく願います。

かっこいいおとうさんへ

有明小学校一年

ぼくのおとうさんは、あしがはやいです。けんかいつしゅうえきでんに20かいほしりました。ぼくも、かぞくでおうえんにいきました。おとうさんは、あついひもさむいひもあめがふっても、まいにちまいにちれんしゅうをしています。ぼくもいっしょにはしたりしました。ごーるまでいっしょうけんめいはしるおとうさんは、すごかっこいいです。ぼくもおとうさんみたいにあしがはやくてかっこいいおにいちゃんになりたいなとおもいました。

おとうさん、20かいおつかれさま。つぎはぼくががんばるね。おうえんしてね。

おかあさん いつもありがとうございます。

有明小学校二年

ぼくのおかあさんは、いつもごはんをつくってくれたり、せんとくものをしたり、そうじをしたり、おうちのことをしてくれています。それに休みの日は、けん道のしあいにおうえんに来てくれます。いつもかぞくのためにがんばってくれるお母さんがだいすきです。そんなお母さんにまけないように、ぼくも、べんきょうやけん道をがんばります。

ふだんはいえないけど、「いつもありがとうございます。」



お母さん

有明小学校四年

去年、ぼくのお父さんがめずらしい病気にかかり入院した。ぼくのお母さんは、ぼく達が今までと同じ生活が出来る様になんぼっていた。生活リズムも全く変わらず、元気にすごせた。仕事、家の事、姉や僕の習い事の送りむかえ、お父さんの病院の事、全部こなしていた。そんなお母さんは今までと変わらず勉強も見てくれた。「つかれた。」と、たまに言う言葉を聞いて、今までよりお母さんの手伝いをがんばった。お父さんも病気とたたかっているからと、がんばってるお母さんは、やっぱりとても強いなと思った。心の中でいつも、ありがとう、いっぱい言った。

自分の周り

有明小学校五年

自分の周りには、感しやすくなる人達がたくさんいます。その感しやすくなる人達をしようかいたします。最初の人達は、一番感しやしないといけない、身ぢかな人、お母さんとお父さんです。お母さんは、毎日おいしいご飯を作ってくれたり、自分たちの成長をサポートしてくれたりします。お父さんは、夜おそくまで仕事をしていて、おもしろいことをして笑わせてくれます。次に感しやすくなる人は、学校の先生です。先生は、勉強でこまっていると勉強におくれがでないように、すぐにおしえてくれます。3番目に感しやすくなるのは、友達です。学校が楽しくないと思っても、友達に会うだけで、楽しくないと思う気持ちは、なくなりません。このように、自分の周りには、感しやしないといけない人達は、たくさんいます。

お父さん

有明小学校五年

僕がありがとうを伝えたいのはお父さんです。いつも僕達のために仕事をがんばってくれています。お父さんの仕事は農家の人達のお手伝いで、ピーマン作りの指どうをしたり、トラクターなどに乗ったりします。早い時には朝四時ごろに仕事に行きます。とても大変なのに休みの日にはサッカーをしてくれたり遊びに連れていったりしてくれるので僕はお父さんのことをとてもそんけいしています。

お父さんへ

有明小学校六年

ぼくのお父さんは、福岡の博多に住んでいます。お父さんと会えるのは、ゴールデンウィークと、夏休みとクリスマスです。ぼくはそれをとでも楽しみにしています。ゴールデンウィークは、お父さんの家にとまったり、おいしいお店に行ったり夜のたんけんをしたり博多とか中央区のとても都会なところを歩いたりしました。夜のたんけんは、南福岡駅のスーパーでジュースとかを買いました。一番お父さんとでかけて楽しいのは、ホテルです。ホテルは、いつもとちがう、場所なので好きです。お父さんとこれからも、いろんな所に行きたいです。お父さん、これからもいろんな所にいこうね。いつもありがとう。

がんばっているおかあさんへ

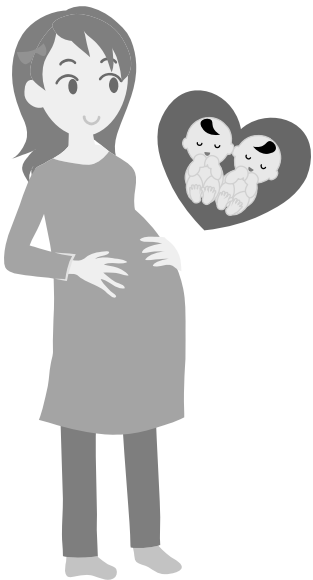
通山小学校一年

おかあさん、いもうとのれいちゃんが出来て、とっでもうれしいよ。がんばってくれてうれしいよ。これからおむつとか、かえてね。わたしもおむつかえたりするね。これからもがんばってね。いつもないたらすぐれいちゃんのとこにいつているからがんばってね。みるくとかちゃんとあげているね。おかあさんはすごいとおもう。これからもがんばってね

大切なお母さんへ

通山小学校二年

お母さんいつもありがとう。おなかにふたごの赤ちゃんがいるのにがんばっているね。むかえとかきつくてもがんばってむかえにきてくれるお母さんが大すきだよ。家ではお父さんが手つだってくれているけど一人でもかみをかわしたり、せんたくものをしたりしているからすごいなっておもったよ。赤ちゃんが生まれる前にプレゼントを買って、生まれるときにがんばれって、こころの中でおうえんするからね。大すきだよ。



大好きなお母さんへ

通山小学校三年

いつも妹のおせわや、りよう理をしてくれてありがとう。わたしがねつを出したらすぐに「ベットにねて」と言ってくれて、わたしの心があたたかくなります。いつも朝わたしのことを起こしてくれて、ありがとう。ソフトボールをしていたお母さんに守びのし方を教えてほしいな。いそがしくて教える時間が少ないので、みんながねてからでもいいので教えてください。私もお手伝いするからね。

今は二人で遊びに行く時間がないから、いつか二人で、りようこうに行ってみたいです。
お母さん大好き。

大好きなお母さんへのかんしゃ

通山小学校四年

いつもありがとう。いもうとやぼくたちのために、いつもし事をがんばってくれて。そうだからぼくやいもうとは、今、いきっています。ぼくのあきらめない力や、どりよくする力、がんばっている力を自分の目で見てみたいですよ。

だから、これからは学校だけじゃなく家でもがんばり、お母さんにえがおで「がんばったね。」といわれたいです。だからお母さんもしごとやしたくもがんばって。いつもお母さんをささえるかっこいい人になりたいんだ。そのためには、がんばり、やさしい人になり、べんきようがたーくさんできる人になり、おかあさんをささえるからしんばいしないでがんばって。

いつもありがとう

通山小学校五年

お母さんいつも仕事でつかれているのにいろいろなことをしてくれてありがとう。そして、いつもめいわくをかけてごめんなさい。仕事でお母さんはつかれているのにいつもわがママをいってしまいます。なのでわがママをいわないようにしていつか何かおんがえしをしたいです。いままでの十一年間ありがとうございました。これからもよろしくおねがいします。

お母さんへ

通山小学校六年

いつもご飯を作ってくれたり、習い事のおくりむかえをしたりしてくれてありがとうございます。仕事も一生けんめいがんばってくれてありがとう。休日の時にはどこかにつれていってくれたり一緒にトランプやバトミントンをして遊んでくれたりしてくれてうれいんです。最近は、たいこのコンクールが近づいてきていることもあり、いろいろな物を買ったり、着る物を作ったりしてくれてありがとう。帰りがおそくなる時には、ご飯の時間をあわせてくれたり、遠くまで迎えに来てくれたりしてありがとうございます。これからも仕事やいろんなことをがんばってください。

自分が成長できたこと

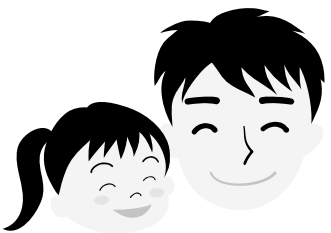
通山小学校六年

今、ぼくは相手のことを思いやれて、どうすればよいかを判断することができています。思い返してみたら、いつもお父さんとお母さんが自分で考える力がつくように、いろいろとせい限されずに、「ここまですたらもうやめよう」と考えられるように教育してくれていました。例えば、お金のことだったり、ゲームのことだったりも、自分でどうするかを考えさせてくれたのだなど、今では思っています。その教育があつてこそ今の今だと思つているので、とてもかんしゃしています。本当にありがとうございます。そしてこれからもよろしくおねがいます。

たつろう

原田小学校二年

わたしのお父さんの名前はたつろうです。わたしは、家でお父さんのことを、たつろうとよびます。兄弟ぜんいんも名前によびます。ともだちは、お兄ちゃんとかお姉ちゃんとかよんでいるけどわたしは、兄弟五人とも名前によびあつていのです。そのきっかけを作つたのは、たつろうです。どうしてみんなを名前によぶのかききました。「うちの家ぞくには、みんな大すきな名前があるから名前によびたい。」とたつろうが教えてくれました。わたしの鈴奏という名前をつけたのは、お父さんです。わたしは、りんかという名前が大すきです。たつろう、ありがとう。



いつもご飯を作ってくれてありがとう。つかれているのに、私の好きなメニューを作ってくれてありがとう。朝起こしてくれてありがとう。お母さんもいそがしいのに、起こしてくれてありがとう。そして、いつもバレーの練習や試合に来てくれてありがとう。朝早くからご飯の準備や、おくりむかえをしてくれてありがとう。お母さんが毎日試合に来てくれて、応援もしてくれているから私はがんばれています。最後に、自分のことより私のことをゆう先してくれてありがとう。そんな、お母さんが大好きです。

私のお母さん

山重小学校五年

私のお母さんは、家族のために、毎日一生けん命働いてくれています。どんなに疲れていても、習い事の送り迎えをしてくれます。仕事から帰ってきてくれたなのに、家のことをやってくれるお母さん、本当にありがとう。たまに体調を崩して元気がないときもあるけれど、私に笑顔で話してくれるし、家のこともかわらずやってくれるお母さんはすごいです。たまにお仕事の休みを取ってくれて、一緒にお出かけをすることもあります。こうして毎日毎日、家族のために、いつもがんばってくれるお母さんが、私は大好きです。これからも、お仕事ががんばってね。私も、お母さんみたいながんばりやさんになりたいです。

感謝しています

松山中学校一年

私はたまに、母のことをうるさいや、私のことを理解していないと思うことがあります。母におこられた時、「中学生なんだから」と言われて、母が私のなにを知っているんだととても腹が立ちました。ある日、母が電話で私のことを話していました。なんか言われるんだろうなと思っていると、「ゆずはやろうと思えば、なんでもできる子だよ。」と言っていました。その後、私は母が今まで私に言っていたことが、私のことを理解したうえで言ってくれていたんだということが分かりました。私は今まで育ててくれた母で良かったと何度も思います。私のことを育ててくれて、そして、大切にしてくれてありがとうございます。私は母に感謝しています。

母はいつも疲れて家に帰ってくる。いつも「○○しなさい。」と言っているが、それを聞かない自分にだんだん腹が立ってきた。母はいつも家事をしているのに、自分ときたら家でずっとゴロゴロしているからだ。母に赤ちゃんができた。そのとき、母が辛そうにうめき声を上げていた。そして、母が「家事をして。」と言った。その様子を見て初めて「自分がちゃんとしなさい。」と思った。それからは、ほぼ毎日手伝いをし、ゲームの時間も減らして早寝早起きをするようにした。母から初めて「えらいね。」と言われた。この言葉は胸に響いた。お母さん、ありがとう。

ありがとう

松山中学校三年

私の両親は、私の部活や勉強に一生懸命です。私は中学三年生で受験生です。そして九月には最後の駅伝もあります。駅伝のために私の練習に付き合ってくれたり、前向きな声かけをしてくれたりします。だから今年こそは駅伝で県大会に行けるように頑張りたいです。また、受験生なのでわからないところを教えてください。勉強は大変だけど、両親の支えがあるからこそ頑張れます。部活、受験勉強両立して頑張っていきたいです。県大会出場、受験合格、両親への感謝を忘れずに頑張っていきます。

恩返しのできるように

松山中学校三年

私の母は毎朝、姉の弁当をつくったり私たちのご飯を作ったり、学校に送迎してくれたりする。仕事で疲れているはずなのにいつも笑顔で明るくて、家事をしてくれる。たまに私たちを叱ることもあるけれど、とても優しく心強い。先日、体育大会があった。母は部活を引退して以来、運動をしてなかった私といっしょに運動をしてくれた。いっしょにラジオ体操をしたり、ふざけてダンスをしたり、短い期間だったがとても楽しかった。今度は受験がある。お母さんに恩返しができるように勉強を頑張って志望校合格を目指して頑張るね。いつもありがとう。



支えてくれてありがとう

松山中学校三年

私の両親は、いつも私のことを一番に考えてくれたり、ときには厳しく怒ってくれたりします。部活があるときは送迎をしてくれます。試合に負けたとき、悩んでいるとき、私と一緒に考え次からどうするか考えてくれます。勉強面ではアドバイスをくれます。私は今年、受験生です。両親は私の夢を叶えるために一生懸命取り組んでくれます。そのため、私は勉強に集中して全力で取り組もうと思えます。受験生だからこそたくさんのごことに全力で取り組みたいです。そして、少しずつ両親に恩返しができるように頑張りたいです。そして第一志望校を合格して、両親と一緒に喜びを味わいたいです。

ママ

志布志中学校二年

いつも伝えてないことを、手紙で伝えるね。いつも、遅くまでお仕事がんばって来て、本当にありがとう。毎日、疲れているのにご飯を作ってくれたり、分からない事を一緒に考えてくれたりする、優しいママが大好きだよ。たまに、ネガティブなことを言うこともあるけど、そんなことないよ。いつも頑張っているママはすごいよ。私、ママの娘になれて、本当にうれしい。私の成績が悪くて、悔しくて泣いている時、いつもなぐさめてくれて、それで頑張ろうと思える。いつも私に好きとか、頑張っているねとか言ってくれるママが、本当に、大好き。これからも、悩んだりすることもあるけど、どうぞよろしくおねがいします。

お母さんありがとう

志布志中学校二年

私は、お母さんに感謝しています。お母さん私を産んでくれてありがとう。これが私の一つ目の感謝の気持ちです。お母さんを私はたくさん怒らせてしまい、ごめんなさい。お母さんが体調悪いのにたくさん携帯電話をしまつて本当にごめんなさい。それでも、厳しく言ったり優しくしてくれたり面白いお母さんが大好きです。私はお母さんに伝えたい事があります。お母さんは難病にかかっています、弟二人と私達を世話してくれたり私のために厳しく言ってくれたりしてありがとうございます。お母さんがつらい事とかあったら、私もお母さんの相談に乗りたいです。お母さんには長生きしてほしいです。私は、お母さんの手伝いをしてお母さんにゆっくりしてほしいです。

母に感謝の言葉

志布志中学校二年

いつも家に帰ると、母が家事をしてくれる。たまに相談にのってくれる。介護の仕事から帰ってきてつかれているはずなのに、家族のために夕ご飯を作ってくれたりしてありがとうございます。学校まで送り迎えなどをしてくれて、感謝の気持ちでいっぱいです。

部活の送迎、用事などで仕事などを休んでまで私の部活などを優先してくれて、本当に母には感謝の気持ちで胸がいっぱいです。

母は、私が意識していない所で動いてくれているかもしれません。だから、私は色々な所に気づいていきたいなと思います。でも、母に謝りたいこともあります。私がおままだ言えず、母にも家族にも迷惑をかけているかもしれないので謝りたいし、感謝しています。

親とは

志布志中学校二年

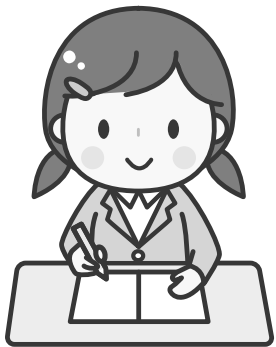
私にとって大切な存在と言えば、第一に上がるのは親である。

親は自分を育ててくれている。子どもを持つというのは、責任を持つ事と同じだと思う。もし子どもが何かをして問題になると、親がそこに行かなければならない。親と言っても当然社会人だ。ほとんどは、仕事をしながら子育てをするだろう。私の親もそうだ。いつもの感謝を伝えて、家事の手伝いを少しでもできるようにになりたい。

がんばるね

志布志中学校二年

いつも仕事がおそくても、がんばってくれるお母さんへ。毎日、私たち家族のために、仕事や家事をがんばってくれてありがとう。学校の行事などがあつたら、毎回来てくれるね。おかげで「がんばろう」って思う気持ちになるよ。いつもお疲れ様。私も、学校でがんばって勉強して、テストなどでいい点数とるね。毎日、本当にありがとう。



いつもありがとう

有明中学校二年

照れくさいけれど、本当の僕の気持ちだ。僕の母は、うるさいくらいとても元気でパワフルである。よく笑い、いろいろな人とよく話す。よく動いている印象だ。六人の兄弟がいるので、家の中は大変なことになっているが、それでも母が中心になって、家を保っている。僕は、野球をしていて、土日の練習試合等、本当に忙しいと思うが何も言わず遠方にも行ってくれる。父から聞いた話だと、うちは、子どもが多い分、今しかできないことを自分に向き合いたいと思ってくれているらしい。僕もその想いに応えたいとは思っているが、言葉にするのは難しい。何かの際に伝えられたらいいと思っている。反抗期が落ち着くまで待っていてほしい。

手紙

宇都中学校一年

お母さん、いつも支えてくれてありがとう。お母さんには、たくさんのことを教えてもらいました。これからも教えてもらおうことがあると思います。お母さんが私に、一生懸命伝えてくれたことは、私にとって財産です。心にきざんで、すごしていることと思います。周りの人に、支えてもらっているから、生きていられるということをおれないでいきます。これからも支えてもらうので、お願いします。

いつもありがとう

宇都中学校一年

私は、感謝を伝えたい人がいます。それはお母さんです。理由は、夏休みの時私のために、毎日お弁当をつくってくれたり、家族のために夜遅くまで働いてくれたりします。お母さんには、感謝しきれないほど家族のことを支えてくれます。お母さんに何か作ってもらっても私は、「それが普通だ。」と思ってしまいますので、これからは、ご飯を作ってもらったら、感謝の気持ちを込めてありがとうと伝えたいです。

私の好きな母

宇都中学校一年

私は母に感謝を伝えたいです。母は、私が少しわがママを言っても、できるはんにでなんだかんだきいてくれます。私が話したら、楽しそうにきいて、いろいろ反応をしてくれれます。母といっしょにいと、なんでも楽しくなります。母にはこれからもたくさんめいわくをかけていくことになってしまおうと思えますが許してください。手伝いなどをして母を少しでも楽にしたいです。私は優しいだけではない母が好きです。いつも感謝しています。

お母さんのあいさつ

宇都中学校一年

私のお母さんは、朝昼夜あいさつをしてくれます。朝は、「おはよう。」昼は、「こんにちは。」夜は、「おやすみ。」と毎日言ってくれるので嬉しい気持ちになります。家を出る時には、「行ってらっしゃい。」と帰りついた時には「おかえり。」と言ってくれるので喜んで、「ただいま。」と言えます。やっぱり私は、お母さんの元気なあいさつが大好きです。いつも、嬉しくなるあいさつをしてくれるお母さんに、「ありがとう。」と伝えたいです。特に、朝のあいさつが一番嬉しいです。理由は、元気なあいさつから今日が始まり、楽しくなりそうだからです。朝から、とても嬉しい気持ちになります。私からも、「おはよう。」と元気に伝えたいです。いつもありがとうと。

母に感謝

宇都中学校一年

私が大切な人は、母です。習い事の送げいや、料理をしてくれたりしています。料理を教えてください、一緒に作ったりします。土曜日は、母がいつもピアノの送げいをしてくれます。学校で必要な物を買ってくれたり、行きたい場所に連れて行ってくれたり、宿題を教えてくださいたりしてくれるので、やさしいです。これからもやさしい母でいてくれたらいいと思いました。

お母さんのいいところ

宇都中学校一年

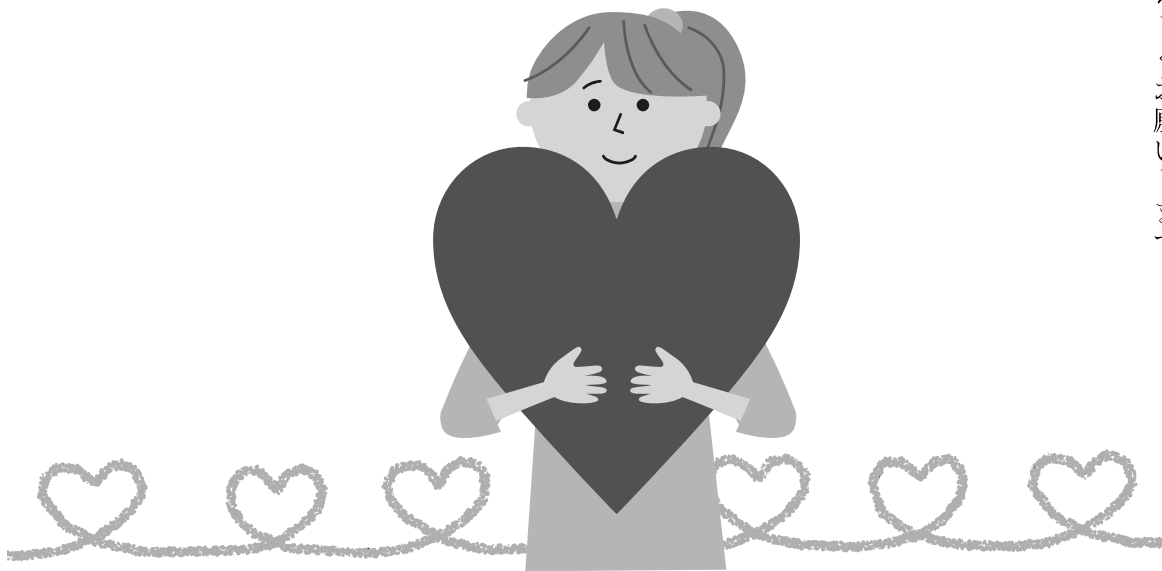
私は、お母さんのいいところをたくさん知っています。一つは、言ったことが全部正論というところです。いつも怒られたとき、正論で返してくれるので、私にはなすべがありません。でも、いつもおもしろく優しいので、私はお母さんが大好きです。お母さんは私のことをいつも変人と言いますが、私はお母さんから生まれてきたのでお母さんも変人ということになりますね。すみません。じょうだんです。こんなにおもしろいお母さんのもとに生まれてよかったです。これからもよろしくお願いします。



いつも伝えられない気持ち

伊崎田中学校一年

お父さん、お母さん私を育ててくれてありがとうございます。
お父さん、こわれた物を仕事でつかれていてもすぐ直してくれてありがとうございます。私たちのために汗をながして働いてくれてありがとうございます。そんなお父さんはかっこいいよ。
お母さん、私が悩みをもっているとき、一番に気付いて真剣に相談を聞いてくれてありがとうございます。お母さんの「たまにはたよっていいんだよ。」その言葉に背中を押されたよ。毎日愛情をそそいで育ててくれてありがとうございます。
これからも家族の一員としてよろしくお願いします。



家族へ



ありがとうおにいちゃん

松山小学校一年

いつもあさいっしょにがっこうにいつてくれてありがとう。
おにいちゃんがいるからがんばってあるけます。

大好きな弟

泰野小学校六年

ぼくの弟は令和元年に生まれました。ぼくは何度も弟がほしいと思っていました。しかし、ぼくは弟に初めて会ったのは弟が生まれた一か月後でした。弟に会ってから毎日手を洗ってからあそんでいます。ぼくと弟は両親が朝はやくから仕事に行くので、お父さんが帰ってくるまで一しよにいます。弟は気分屋なのでご飯は食べたり食べなかったりです。弟とぼくはよくけんかをします。食べ物のとりにあいや、まくらのとり合いをします。けんかや怒ることもあります。ぼくは本当に弟が大好きです。なので、毎日幸せにくらしてほしいです。

おばあちゃんいつもありがとう

尾野見小学校四年

わたしのおばあちゃんは、いまでも一日、八百メートルを二周するほど元気です。おばあちゃんは、お家のとなりの畑で野菜を植えています。なにを植えているのかというと、季節に合った野菜を植えています。夏休みはトマトハウスで出来たトマトの料理をして、わたしたちに食べさせてくれます。わたしは、トマトが苦手だけどおばあちゃんのトマトは、あまいので食べられます。働き者のおばあちゃんは、学校やソフトの送りむかえをしてくれます。

わたしは、そんなやさしいおばあちゃんが、近くにいてくれてうれしいです。おばあちゃんいつもありがとう。長生きしてね。



ありがとうみんな

志布志小学校一年

ぼくは、かぞくのみんなにかんしゃをつたえようとおもいます。
おとうさん、いつもサツカーをおしえてくれてありがとう。いっばいれんしゅうしてうまくなれるようにがんばるね。

おかあさん、いつもごはんをつくってくれてありがとう。たくさんたべておおきくなるね。

おねえちゃん、しゅくだいみてくれてありがとう。

おにいちゃん、いつもあそんでくれてありがとう。

みんな、だいすきだよ。

ありがとう

香月小学校三年

おじいちゃん、おばあちゃんは、ぼくの大好きなくだものやお肉に魚に野菜とおかしをここにいっばいつめておくとてくれます。

いつもはこがとどくとうれしいきもちになります。

電話でありがとうとつたえます。

遠くに住んでいるからめつたに会えません。

こんど、会いにいつてありがとうといいたいです。

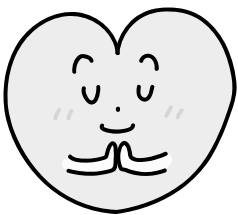
いつもありがとう

香月小学校四年

わたしには、感しゃを伝えたい人がいます。

それは、家族です。わたしの家族は、お母さん、お父さん、お姉ちゃん、お兄ちゃん、私の五人家族です。わたしが今、楽しくすごせているのは、家族のささえが一番だと思えます。つい、当たり前のことだと思うけど、だれかが体調をくずしたり、家にいなくなったりしたときに、この生活は、当たり前じゃないんだなと実感します。でも、ずっとずっとこの生活がつづくわけではないです。

お姉ちゃんやお兄ちゃんは、さ来年、大学生と高校生になつて二人とも家を出ると思えます。わたし自身も、しっかり自分で出来ることを少しずつふやしていつて、家族を少しでもささえられるようになりたいです。



おじいちゃん、今までありがとう

潤ヶ野小学校四年

大好きなおじいちゃんが亡くなった。おじいちゃんは、ぼくがほいく園に通っていた時、運動会に来てくれて、それがきっかけで大好きになった。その後は、おじいちゃんにいろいろな所に連れて行ってもらって、とてもうれしかった。あんなに大好きだったおじいちゃんが亡くなったと聞いた時は、とても悲しい気持ちになった。もしかしたら、おじいちゃんは天国からぼくを見守ってくれているのかもしれないと思った。おじいちゃん、今までありがとう。

大好きなお姉ちゃん

潤ヶ野小学校五年

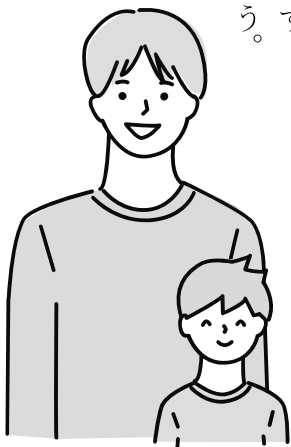
今年中学生になったお姉ちゃん。小学生の時は、たくさんケンカをした。でも、お姉ちゃんと家にいるほうが楽しいと今は思う。「お姉ちゃんといっしょじゃないほうがいいの。」と思っていた。でも、実際とてもさびしかった。いつも朝はいなくて、夜七時くらいに会う。中学生になってからあまり話をしなくなった。小学生の時、いろいろめいわくをかけてしまった。お姉ちゃんは、しかってくれた。あの時はいやだったが、今は「しかってくれてありがとう」と思うようになった。やさしく教えてくれたお姉ちゃん。ご飯をつくってくれたお姉ちゃん。いつもありがとう。

ぼくのおにいちゃん

安楽小学校一年

おにいちゃんとぼくは、じゅうにとしがはなれています。あしもはやくてかっこいいです。いつも、いえではあそんでくれます。たのしいです。いっしょにごはんをたべて、いっしょにおふろにはいりました。きもちよかったです。おにいちゃんがおとまりにきます。おとまりにきたときは、いっしょにねます。おにいちゃんとさんぽをします。かたぐるまもしてくれます。かくれんぼもします。おにごっこもします。ぜんぶたのしいです。かえるときはさびしいです。あいにくるときはいろんなところに行きます。これからもいっばいおもいでをつくります。

おにいちゃん、たくさんあそんでくれてありがとう。



天国にいったひいおばあちゃんへ

安楽小学校三年

わたしが三年生になった四月に、大すきだったひいおばあちゃんが天国にいつてしまいました。

ひいおばあちゃんは、いろいろなことを教えてくれました。畑では、「大こんの葉っぱはちくちくするから、手ぶくろをしていねいにね。」台所では、たまごのわり方を教えてくれました。いっしょにたまごやきを作りました。おり紙やぬり絵もいっしょにしたよね。お出かけもたくさんして、わたしに、楽しいことをいっぱい教えてくれました。これからもずっと、ひいおばあちゃんに教えてもらったことをわすれないよ。わたしのこと、見ていてね。

私の大切な家族へ

安楽小学校五年

私は、大切な家族に伝えたいことがあります。

一つ目は、私を産んで、ここまで育ててくれたことです。お父さんとお母さんが一生懸命育ててくれたおかげで私は、少しずつ成長することができました。本当にありがとうございます。二つ目は、私が生まれた後、お父さんとお母さんが私の名前を必死に考えてくれたことです。一生懸命考えてくれた結果、この「千優」という名前をつけてくれました。とてもすてきな名前だと思います。三つ目は、私とたくさんのおい出を作ってくれてありがとうということです。私は、この学校で、勉強や運動ができるようになり、たくさんのお友達も出来ました。こういうことが出来たのは、全部家族のおかげです。本当に感謝しています。最後に言いたい。私は、この家族の娘になれて幸せです。

私のおばあちゃん

森山小学校六年

私のおばあちゃんは七十二歳です。なのにバリバリ元気で、シラスを運ぶ仕事をしています。一生けん命仕事をしていて、私はすごいなと思っています。それに、私を買ってほしいものを買ってくれたり、家の草取りをしたり、たまには愛犬の散歩も手伝ってくれたりします。そんなおばあちゃんに、わたしは感謝しています。おばあちゃんに「やめてほしいな。」と思うところがあったり、おばあちゃんに対して反抗したり、迷惑をかけたりすることもありますが、私はおばあちゃんが大好きです。おばあちゃん、これからもよろしくお願いします。

ぼくのお姉ちゃん

森山小学校六年

ぼくには、五歳年の離れたお姉ちゃんがいます。ぼくのお姉ちゃんは、言葉も力も強くて、少しこわいです。ぼくもおうちでは少し言葉が強いので、よくけんかになります。でも「けんかするほど仲がよい」というように、ぼくとお姉ちゃんは、大の仲良しです。ある日、ぼくはお姉ちゃんにペンをプレゼントしました。するとお姉ちゃんも、そのペンをアルバイトのときに大事に使ってくれています。そんなお姉ちゃんも、ぼくは家族の中で一番大好きです。お姉ちゃん、いつもありがとう。これからはずっといっしょにいようね。

お姉ちゃん大好き

蓬原小学校五年

わたしが小学校に入学したときに、手をつないで登校してくれてありがとう。とても、心強かったよ。安心してすごせたよ。

今は、お姉ちゃんと週末しか会えないけれど、わたしがかぜをひいたときに薬を買ってくれたり、おみそ汁やハンバーグを作ってくれたりとても感謝しているよ。お姉ちゃんが作ってくれる料理は、おいしいから大好きだよ。

わたしが大きくなったら、ちよこちよ遊びに行つて、コロツケやオムライスを作つてあげるね。

これからも、優しく見守つてね。いつまでも仲のいい姉妹でいようね。お姉ちゃん大好きだよ。

ぼくのお姉ちゃんとの思い出

野神小学校四年

わたしは、ひいじいちゃんとのいねかりが楽しい思い出です。じいちゃんとは、いねかりの時「えーちゃん力もちだね」と言われていました。いねかりの時のおにぎりは、さいこうにおいしかったです。でも五月になくなってことしの夏は、いないのでさびしいです。

でもわたしは、じいちゃんは、お空でみまもっているとねがっています。

大好きなお姉ちゃん

野神小学校四年

いつもいろいろなことで遊んでくれてありがとう。学校はどうですか。勉強は、むずかしいですか。むずかしくてもがんばってね。お姉ちゃんといっしょにいて楽しいよ。これからもえ顔で楽しく学校に行ってね。え顔で帰ってくるのを待ってるよ。

天国にいるひいおじいちゃんへ

野神小学校六年

ひいじいちゃんへ、いままで私にいろいろなことを教えてくれてありがとう。今年、ひいじいちゃんといねかりやお正月などをいっしょにすることができないからさびしい気持ちがあります。ひいじいちゃんともう少し長くいたかったなど日々感じます。私が今年がんばりたいことは、二つあります。一つ目は、陸上の大会に向け朝練をがんばりたいです。陸上のライバルにまけないようがんばります。二つ目は、学校で習ったことを忘れないようにがんばります。六年生になって勉強内容が多くなったので、復習や学校の宿題をがんばりたいと思います。陸上の大会でいい結果が出せるように一生けん命がんばりたいと思います。

ありがとうおばあちゃん

有明小学校一年

ぼくのおばあちゃんは、はたらきものです。いちごのおしごとをしたり、おやさいをつくってもってきてくれたり、にわのくさとりをたくさんしてくれれます。

おばあちゃんはすぐちかくにすんでいるので、よくあそんでくれます。いっしょにしゅりけんをおったり、おばあちゃんのとくいなあやとりをおしえてくれたりします。そのおかげで、ぼくはあやとりがだいすきになりました。

これからもまだまだげんきでいてね。



わたしのおばあちゃん

有明小学校三年

わたしの家は、そ父とそ母とお父さん、お母さん、弟の六人で住んでいます。お父さんとお母さんは夜まではたらいっているのです、毎日家族のご飯を作ってくれるのはおばあちゃんです。

おばあちゃんの作るご飯で好きなメニューは、カレーです。いつもわたしたちのために、おいしいご飯を作ってくれてありがとうございます。

たいせつなかぞく

通山小学校一年

だいすきなままへ。
ままいつもそばにいてくれてありがとう。
まますつといっしょにいてくれてありがとう。ままいつもうりしてくれてありがとう。

だいすきなれんくんへ。

いつもいっしょにあそんでくれてありがとう。

ずっただいすきだよ。

だいすきなおとうさんへ。

いつもおしごとががんばってくれてありがとう。いつもおもちゃをかってくれてありがとう。

ぼくはかぞくがだいすきです。

お姉ちゃんへ

通山小学校三年

お姉ちゃんわからない問題を教えてくれてありがとう。

いつもケンカをしてごめんね。いつもひどいことを言っちゃうけど本当はお姉ちゃんのこと大すきだよ。

お姉ちゃんのカッコイイすがたをたくさん見てきたけどこれからも、もつとカッコイイすがたやえ顔をたくさん見せてね。

お姉ちゃんはお母さんお父さんにたよりにされていてわたしもたよりにされたいと思います。お姉ちゃんをそんけいしています。

お姉ちゃん、わたしはまだたよりになれないかもしれないけど大きくなったらお姉ちゃんにおんがえしをできるような大人になるからまってね。大すきだよ。

おじいちゃんいつもありがとう

通山小学校五年

おじいちゃんいつもありがとう
牛のお世話や、お米を大きくそだてたりして疲れると思うけどがんばってね。
牛の草を暑い中切ったり、牛に何回もあげたり、そしてお米を見にいたり、水の水
温を下げたり頑張っているね。牛の世話やお米と一緒にそだてたりしてすごいね。ま
た、おじいちゃん家に行って牛のお世話をするから、待っていてね。そして、いねか
りも行くから待っていてね。
これからも元気で長生きしてね。

おばあちゃんいつもありがとう

原田小学校五年

おばあちゃん、いつも、おかしや、ジュースを買ってくれて、ありがとう。毎日、
朝四時に起きて新聞配達をしたり、洗たく物をとりこんでたんだりして、家のこと
などをすべてやりきっているおばあちゃんは、かっこいいです。ときどき、体調が悪
くなつて、ねこむ日があつたけど、その次の日には、それがなかったような笑顔をつ
くれるおばあちゃんはずいぶんいいなあと思いました。私も、いつかおばあちゃんみたい
人になれるように、がんばりたいです。だから、おばあちゃんがこまったことがあつ
たら、助けられるようにがんばりたいです。

ぼくのおじいちゃん

山重小学校一年

ぼくのおじいちゃんは、もうすぐ七十さいです。にわの大きな木に、ブランコをつ
くってくれたやさしいおじいちゃんです。うんどうかいでは、山しげ小の百五十しゅ
う年のきねんに、おじいちゃんが、ちいきの人たちと力をあわせて、りよくもんをつ
くってくれました。ぼくは、それを見て、びっくりしました。みどりのスギのはっぱ
がたくさんついていました。こんなに大きなのをつくって、すごいとおもいました。
山しげ小のためにもがんばっているおじいちゃんは、ぼくのおじいちゃんです。おじい
ちゃん、これからもよろしくおねがいます。



いつも笑顔の祖父母へ

松山中学校一年

いつもありがとうございますと一番言いたい人がいます。それは、自分の祖父母です。まず、祖父へ。自分が休みのときに、魚つりにさそって来てありがとうございます。そして、どんなときでも、笑顔でいてくれて、ありがとうございます。これから、つりにさそってください。次に、祖母へ。仕事でつかれているのに、つかれを感じさせない笑顔でいてくれて、ありがとうございます。おいしい料理で、笑顔にしてくれてありがとうございます。たまには、仕事もいきぬきしてくださいね。これからも、二人の元気な笑顔で、ぼくたちを見守っていてください。いつも、ありがとうございます。

私の家族との幸せな時間

志布志中学校二年

私の家族は二人とも働いています。帰ってくる時間も日によって違います。でも、絶対に家族全員がそろうときがあります。その日は弟たちのサツカーもない休日です。家でゆっくりしたり、お出かけしたりします。でもたまに、キャンプに行くときがあります。私の両親は大のキャンプ好きです。春休み、冬休みの長期休みは必ず一回はキャンプへ行きます。夜たき火をするとき、片付けをするときも楽しいです。たとえば、何もない日でも、どんなときも家族といればとても楽しいです。学校にいても、家族のことばかり考えてしまいます。それだけ家族のことを私は愛しています。これから家族との時間を一秒一秒大切に過ごしていきたいと思います。

家族へ

志布志中学校二年

いつも色々なことをしてくれてありがとうございます。ご飯を作ってくれたり色々な物を買ってくれたり、勉強を教えてくださいたりしてとてもうれしいです。どんなことがあっても、私を見捨てたりしません。本当にありがとうございます。これからもよろしく願います。

お兄さん、いつも私のためにお昼ご飯を作ってくれたり、遊んでくれたりしてありがとうございます。小さい時よくけんかをしたけど、遊んだりしてくれたことも全部ふくめて思い出です。小学校の時、一緒に学校へ行ったのが楽しかったです。また会いましょうね。

居心地の良い場所

有明中学校一年

僕は一日の話をする夕飯の時間が好きです。僕が学校で注意されても、家族みんなが話を聞いてくれて、いつも僕を信じてくれていた家族に「ありがとう」と言いたいです。寮にいる兄は、兄弟ケンカするけど、久しぶりに会うと色々な事を教えてくれて楽しい時間をくれる自慢の兄です。妹はよく言い合いになるけど、僕が困った時はすぐかけつけてくれる優しい所があります。兄妹三人、毎日にぎやかで大変だと思うけど、怒りながらも実は心配性で、家の事を支えてくれていた父と母にも感謝です。

私の祖父

有明中学校二年

私の祖父はよく妹や私に、「なんでも挑戦してみなさい」と言います。勉強などで分らないところがあつた時、祖父にたずねると「自分で考えてみる事が大切なんだよ。」と、まず人に聞かず、なんでも自分で考える事の大切さを教えてくれます。また、私が失敗をおそれて物事に挑戦することをあきらめかけてしまっている時も、「まずは挑戦してみなさい。自分から勇気を出して挑戦する気持ちが大切なんだよ」と言ってくれます。これからは、祖父の教えをいかし、何事にも挑戦していきたいなと思います。おじいちゃん、いつも大切な事を教えてくれてありがとう。

私の自慢の祖母

有明中学校三年

私の祖母は、私が遊びに来るととても喜んで、次から次へと沢山話をしてくれます。私が、泊りにくる日には、近くのスーパーで私が好きな飲み物を買ってきたり、祖母の自慢の手料理が食卓に並んだりします。その中で私が一番おいしく食べるのはお米です。私が毎日食べるお米は、祖父が手間ひまかけて作っています。寒い日も暑い日も私たちのために田んぼに行く一生懸命な祖父のお米が一番おいしいです。また、そのお米で祖母が作るお寿司も最高においしいです。最近は受験勉強も忙しくなつて、あまり遊びに行く時間がないけど、少しでも喜んでもらえるように、第一志望校に合格したいです。これからも元気でいてね。



私には妹がいる 優しくて可愛くて頑張り屋で…… たまにけんかもしてしまいうけど 今までもこれからも大切な存在 唯一無二の大切な存在 いつも ありがとう

亡くなった祖父へ

伊崎田中学校二年

私が小学生のころ、祖父は病気で亡くなってしまいました。私は祖父が大好きでした。一緒に出かけたり、祖父の家にとまりに行ったりとても楽しいことばかりでした。でも病気が見つかって、入院をしないとイケなくなってしまう、一緒に遊ぶことができなくなってしまいました。コロナで会いに行くこともできず、会えたのはもう目を覚まさなくなってからでした。私は祖父を見て、涙がたくさんできました。何度声をかけても、もう目を覚ましてはくれませんでした。私はたくさんの思いがこみ上げてきました。今までお世話になった祖父に、「ありがとう」と伝えたいです。

僕の祖母

伊崎田中学校三年

僕の祖母は、とてもパワフルだ。そしてよく笑い、負けず嫌いでとても優しい。そんな祖母を少し嫌っていた時期がある。それは、小学校高学年のときだ。祖母は、運動会するとき、応援に来てくれて僕が走っているときは誰よりも大きな声で応援してくれていた。しかし学年が上がるにつれてその応援が恥ずかしくなっていた。また、夜一人のときは「家に居ようか。」と言ってきてくれたが、僕は心の中で「もういいって。」と思っていた。今思うと僕のことを思ってくれていたが、僕は心の中で「もういい低なことをしていた。これからは、元気いっぱい優しい祖母を大事にしていきたい。そして、今は亡き祖父に言えなかった分の「ありがとう」を沢山祖母に言いたい。



先生へ



先生あのね

松山小学校二年

先生のおかげで虫がさわれたよ。
先生の「だいじょうぶ。」でなわとびとべたよ。
先生のがおでぼくもわらえたよ。

校長先生へ

松山小学校三年

わたしは、校長先生がすごいと思います。
それは、どうしてかというと、毎朝学校のそうじをしてくれたり、先生やわたしたちのを見てくれたりしているからです。それから、わたしが一年生のとき、持ちゆう走大会の練習のとき、いつもいっしょに走ってくれたり、はやく走れるようにおしえてくれたりしたので、とてもうれしかったです。いつもわたしたちを見まもってくれてありがとうございます。これからもよろしくおねがいます。

ぼくのたんにんの先生

志布志小学校二年

ぼくのたんにんの先生は、ひる休みにいっしょにあそんでくれます。それがぼくは、うれしいです。
でも、ようじがあつてあそべないときもあります。そのときに先生は、「いそがしいからあそべない。」ではなくて、
「その言ばがうれしい。ありがとう。でも、ようじがあるからごめんね。」
と言ってくれます。あそべないのは、さんねんだけどまたさそいたいなあつて気もちになります。先生のやさしい言ばがすごくうれしいです。
先生、いつもありがとうございます。



大切な先生

志布志小学校三年

わたしは、一番大切な人がいます。それは、先生です。なぜ大切かというと、いつもべん強を教えてくれるからです。先生は、いつもやさしく、全ぶなんでも教えてくれます。だから、とてもやさしく、すごくいい先生だなあとわたしは、思います。いつも先生は、

「わからなければなんでもきいてね。」と言ってくれます。わたしは、いつも、相だんをしたり算数が分からないところを教えてもらったりします。わたしは、こんな先生は、ゆめみたいいな先生だと思います。ほんとうに、なんでもきいてくれる先生は、ほかにもいっぱいいるとわたしは、しんじて、べん強をがんばりたいなと思います。

先生へ

香月小学校四年

先生がたんにんの先生になってくれて、一日一日が楽しくなりました。ありがとうございます。

いつもみんなをわらわせてくれて、おもしろいです。教え方も分かりやすく、分からないことが少ないです。

そうだんにもつてくださり、ありがとうございます。先生がいないときのじゅ業は、みんな静かです。毎日楽しい思い出が、たくさんできます。字がすごくきれいで、見やすいです。いつもやさしく、おもしろくしてくれて、本当にありがとうございます。新しい発見などを、ほめてくれたり、おどろいて聞いてくれたりしてくれて、うれしいです。また、二学期三学期も、そのままいてください。毎日ありがとうございます。

感謝

香月小学校六年

ぼくが志の言葉、大切な人に使いたい私の思いは、学校の先生への感謝です。

ぼくは、勉強がきらいです。今でも好きではありません。でも、一番きらいだった算数は好きになってきました。それは先生が、ぼくが苦手で分からない所を、放課後教えてくれたからです。わからない問題がわかるようになります、すごくうれしくて楽しいからです。こんな気持ちになれて感謝しています。

でも、ぼくはまだ勉強が苦手です。もつともつと好きになれるようにがんばりたいです。

先生これからもよろしくおねがいします。

この感謝の気持ちは、ぼくが大人になっても忘れることはきつとないと思います。

校長先生ありがとう

安楽小学校二年

わたしのかよう小学校の校長先生は、まいあさ正門に立ってじどうみんなにあいさつをしてくれます。雨の日は、かさをさして立っています。正門のしんごうが赤色にかわると、黄色いはたで車をとめて、わたしたちが安全におうだんほうをわたるまで、見とどけてくれます。あさは、学校に行くのがとてもめんどくさいけれど、校長先生と大きなこえであいさつをすることでパワーがついて、今日も一日がんばれる気持ちになります。

校長先生が考えたありが10×100大作せんでは、いままで気づかなかったありがとうに気づくことができました。校長先生いつもありがとうございます。

みずこ先生いつもありがとうございます

伊崎田小学校三年

いつも楽しく音楽を教えてくださいありがとうございます。昼休み、いつしよに練習をしたので、新時代のピアノがじょうずにひけるようになりました。ゆびが思うように動かなかったときには、みずこ先生が、優しく教えてくれました。今度、さんかする市の音楽会では、じょうずにひけるようにがんばります。

憧れの先生

蓬原小学校六年

僕の憧れであるY先生はいつも明るく陽気に笑う活発な先生です。

「努力は報われるなんて甘い甘い！報われる努力をするのが学習です。」

僕は、この文を読んで、今までの自分のがんばり方を変えていこうと思いました。六年生になり、最上級生として行動しなければいけないのに、反抗期で勝手なことをすることもありました。Y先生はそんな僕たちにもコミュニケーションをとったり、相談にのってくれたりしました。また、「この子はこれが得意でこれが苦手。」といったことを把握し、教え方や話し方を工夫してくれます。

僕もY先生のように人の気持ちを考え、人のために行動できるようになりたいです。

若山先生、いつもありがとうございます

野神小学校六年

いつもやさしくしてくれてありがとうございます。担任になってくれてありがとうございます。いつも笑わせてくれてありがとうございます。楽しませてくれて、ありがとうございます。たつくさんのありがとうございます。ありがとうございます。若山先生のおかげで学校が来るのがとても楽しみです。そして、笑わせたり、楽しませてくれる若山先生が、とてもとっても大好きです。だから卒業するのが楽しみでいやなような、変な気持ちです。でも、早く卒業して先生に立派になった、私のすがたを見せたいです。そしてもう一回いいいます。大大大大大好きです。

先生へ、

有明小学校二年

一学きベンきょうやたいいくを分かりやすくおしえてくれてありがとうございます。ベンきょうやいろいろなこと二がつきもちょうせんしてみたいとおもいます。

せんせいの良いところは、おしえかたがじょうずなことです。

いちばん先生のおしえかたがじょうずなきょうかはさんすうとこくごです。

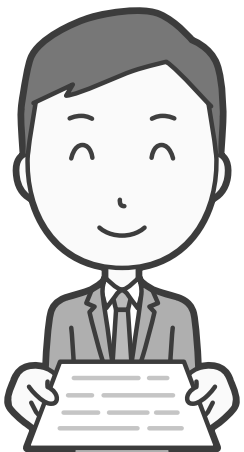
さんすうはにがでだけ先生のおかげでじょうずになりました。

二学きもじょうずにおしえてくれたらうれしいです。

小一息子の担任の先生へ

有明小学校保護者

今年、小学校へ入学した息子はちよつと真面目すぎる所があり、学校で友達と上手くやっついていけるか心配でした。心配だからと言って学校へ見に行くわけにもいきません。帰宅した息子に一日あったことや、楽しかったことを聞いていました。その中でも助かったのが毎日先生が日報のプリントを作って下さったことです。児童もたくさんいて、授業もある中で、毎日プリントを作ることは大変だったと思います。子ども達たち一人一人の事も良く見て下さり。面談があった時に息子の学校でのことを教えて下さり、良い所をちゃんと褒めて伸ばしていつて下さる先生に感謝の気持ちでいっぱいです。親も子ども安心して通える環境を作って下さり、ありがとうございます。



大好きな先生

松山中学校二年

私には中学生になって大好きな先生ができた。怒ったらめっちゃ怖いけど、めっちゃくちゃほめてくれる先生。そんなに先生と話したりしないけど、何かあつたら先生にたよってしまう自分がいる。優しくて周りを見て行動している先生のようになりたいと思う。中学校生活が終わるまでに先生のようになって誰かにたよられる人になる。これからも、勉強を教えてくれる先生、人生の先生としてよろしくおねがいします。

学校の先生への感謝

有明中学校二年

私の大切な人に伝えたい思いは、学校の先生への感謝です。担任の先生は、クラスの生徒全員のことを考えてくれていきます。皆の長所も見つけてくれます。他の授業の先生は、全員にわかりやすい授業を行なってくれます。プリントを作成してくれる先生もいます。生徒の質問にも必ず答えてくれる、優しい先生方です。そんな先生方に感謝の気持ちを伝えることができたらいいなと思えました。先生に恵まれた有明中の生徒はとても幸せだと思います。なので、学校の先生方、いつも私達生徒のために、ありがとうございます。

大好きな先生へ

有明中学校三年

私は小学の頃に出会った担任の先生にとっても感謝しています。この先生は本当に良い先生でした。とてもフレンドリーでおもしろい先生でした。体育の授業で私が後転ができなくて悩んでいるときに先生が来てくれました。私ができるまでずっと一緒にいてくれて、私がやっとできたときに先生が泣いていてとてもおどろいたけどちょっと嬉しかったです。他にも色々なところで私を支えてくれていてとても感謝しています。先生、今までありがとうございます。先生のごことは一生忘れません。



保護者から



大切な子どもたちへ

泰野小学校 保護者

今、私が幸せなのは、いつもあなた達三人が、元気に過ごしているからです。これまでつらい事や将来への不安、学校の悩みなどそれぞれあったよね。だけど三人共、周りの人に支えてもらいながら、自分の力で乗りこえてきたと思います。これからも周りの人に感謝しながら、自分のペースで成長してください。そしていつか、困っている人を支えられる人になれるといいなと思っています。いつもお母さんを支えてくれてありがとう。何気ない日常生活を送れることに感謝の気持ちでいっぱいです。

がんばっている息子へ

泰野小学校 保護者

小学校に入学してからはしばらくは、不安でお母さんの近くから離れることができなかったよね。いっぱい泣いて、いっぱい頑張ってきたね。先生やお友達が力を貸してくれて、頑張れているんだと思います。周りの大人の人たちも、そしてお父さんもお母さんも、お兄ちゃんもお姉ちゃんも見守っています。いつも君の笑顔に力をもらっています。これからも一緒に楽しく過ごそうね。

頑張れ!

泰野小学校 保護者

今、何不自由なく大好きなサッカーができてるのは、いつも熱心に指導して下さる監督、コーチ、いろいろ協力してくれるおじいちゃん、おばあちゃん、そして試合のたびに朝早く起きてお弁当を作ってくれるお母さん、いろいろな人の支えがあってサッカーができていることを忘れないように。毎日欠かさずボールを蹴って、努力しているところをいつも見えています。今の頑張りには決して無駄にはなりません。勝つことだけではなく、この先ずっとサッカーを好きでいてくれることが一番の望みです。君の一番のサポーター、ファンとしてどんな時も全力で応援しています。夢に向かって頑張れ!



大切なわが子へ

泰野小学校 保護者

君は名前の通り、人を思いやることのできる子です。困っている人がいると、自分のことのように接することができるといいですね。すごく素敵なお子さまだと思います。そんな君のことがお父さんもお母さんも大好きだし、誇りにも思います。お父さんは厳しいから怒ることもあるけど、もつともつとかっこいい男になれるようにしているんだよ。三人兄弟、けんかも多いけど、これからも仲よく頑張ってるね。お父さんもお母さんも君に負けないように頑張るね。たくさん旅行にも行こうね。

すくいと

田之浦小学校 保護者

この世界で生きているときに
あなたと出会えたこと
あなたと過ごしていけること
よく考えてみると
なんかすくいことですね
あなたと過ごす時を
後悔しないように
生きていきたいです

「ありがとう」をありがとう

田之浦小学校 保護者

朝起きて、娘の髪を結んであげると「ありがとう」、みかんの皮が硬くて、なかなかむけない娘の代わりにむいてあげると「ありがとう」、そして、そのみかんを私に分けてくれる。どんなにささいなことでも私に「ありがとう。」を言ってくれる。私の方こそ、いつもありがとう。洗濯物を一緒にたたんでくれて、ありがとう。ご飯の準備と一緒にしてくれて、ありがとう。小さな体で一生懸命お手伝いしてくれるその姿が、とても愛おしいです。大切な私の宝物だよ。



大切なわが子

有明小学校保護者

大切な息子達へ

一つ一つの色を咲かせるあの一ツ瀬川の石のように、それぞれに輝いてね。

子供の成長

有明小学校保護者

一年生の時から少しずつ自転車の練習をしてきました。

二年生になってから、ようやく集中して練習を重ねていくうちに、やっと乗れるようになりました。つまりいた事もあり、もちろん転げた事もあります。

それでも初めて自転車に乗れた時の喜びが忘れられません。出来ない事が出来るようになるって本当に嬉しい事です。

これから、もっともっと成長が楽しみです。

あなたが生まれた日〜BONE〜

原田小学校保護者

あなたが生まれる日を私はいつも楽しみにしていた。月に一度の診察日。力強く音を放つその鼓動はどんな宝石よりも輝き、私に喜びを与えてくれた。共に生きた十カ月。長いようであつという間に過ぎた日々。だからこそ今、目と目で見つめ合い、耳と耳で声を聞き、口と口で言葉を伝え合う。鼻と鼻で互いを感じ、手と手で支え合う。あの頃愛おしく思ったこの気持ちはあなたが生涯を終えるその時まで変わらず抱き続けるだろう。私が強く深く望んだ命。さあ、これからも一緒に笑って生きていきましよう。

夢の一步きっかけの言葉

原田小学校保護者

娘の小学六年時の教育相談の日、担任の先生から「穂乃香さんは光るものがありますから中学受験をさせてあげてください。」と言われました。当時の娘の夢は「お医者さん」多少勉強ができて、雲の上のような話で現実味はありません。塾に行かせたこともありませんが、先生の一言で娘の夢を叶えることができるのではと真剣に思えるようになりました。中学高校でも、担任の先生や塾の先生方に支えられ、多くの方々に応援していただきました。そして、この春、娘は医学部に合格して「お医者さん」の第一歩を歩き出すことができました。小学校の担任の先生の可能性を信じてくださった一言、本当に感謝しています。

地域の方へ

夢や目標

友人へ



ありがとう

泰野小学校運営協議委員

ある日曜日、歩道に飾っているパンジーの枯れた花柄摘みをしていると、通りかかった小学生の女の子が二人。

「おじちゃん、いつも花の手入れしてくれてありがとう。がんばってね」という子どもの声が。

またある日の放課後。下校中の中学生が「おじちゃん、私も花柄摘み手伝います」と花柄摘みを始めてくれました。

泰野にはこんな優しい子どもが育っています。花を愛しく思う子どもに、人を思いやれる子どもに育ってくれてありがとう。

日々是好日

泰野小学校運営協議委員

こせつかず おおらかで 且つ堂々と 自然体やよし 単純やよし

この言葉を色紙に書いて、今から二十数年前私がある学校に転勤する時に、人生の師と仰ぐ大先輩がくださった。以来私は、日々の生活を戒め、毎日を一日生涯の気持ちで過ごすように努めている。

日々是好日とは、中国宗時代(十世紀〜十三世紀)の禅文学の書物碧巖録(へきがんにろく)に出てくることばで、禅の無の境地に達すればどんなにいいことがあった日でも、どんなに災難に見舞われた日であってもあまり違いはない。だったらいい方にかけて、毎日がありがたく好日と感謝して生きていくと教えられている。

今後、志布志市が増々発展するよう皆心を合わせ、日々是好日の生き方をしたらと思う。

はばたけ 泰野っ子

泰野小学校運営協議委員

志布志市立泰野小学校は、今年創立一五〇周年です。たくさん子ども達が、学び舎を卒業し、それぞれの社会で活躍しておられます。

自然豊かですばらしい環境の中にある泰野小学校は、私達地域住民の宝であり誇りでもあります。そして、日本中に笑いとユーモア、明るさを届けている人がいます。泰野小学校の卒業生でもあります、綾小路きみまろさんです。さまざまな苦労と努力の末に、今の地位を作られました。泰野の誇りです。

皆さんも、きみまろさんの様に高い志をもって世の中にはばたいてほしいです。

そして、これからも思いやりの心を忘れずに、社会の中で必要とされる人になってください。

元気な子どもたち

泰野小学校運営協議委員

志布志市立 泰野小学校一五〇周年 おめでとう ございます。

泰野小の子どもたち いつも元気イッパイです。

大好きな子どもたちは、朝も元気よく挨拶してくれます 私にとっては一日の始まりの元気になる薬です。校庭で遊んでいる、時の声も聞こえたりします。帰りの時の挨拶も元気がいいです

泰野小学校の子どもたち、学校の行き帰り、車にくれぐれも気を付けてくださいネ。今日ガンバツたから、明日もガンバツてネ。

いつも ありがとう。

たいの小的みんなへ

泰野小学校一年

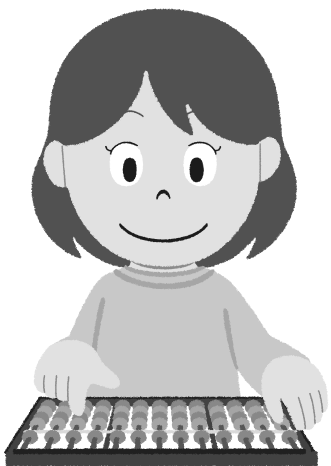
いつもいっしょにあそんだり、ぼくが車いすでできないことをてつだってくれたりしてありがとう。ぼくは、みんなとバツタをつかまえるのがたのしかったよ。かかりのしごとをするときに、てつだってくれてうれしかったよ。これからも、みんなでのしくあそぼうね。

わたしに教えてくれた先生

尾野見小学校五年

わたしは、今年の4月から友だちとそろばんをならいはじめました。そこは、あんならくなのであんならくの小学校の子どもたちがたくさんいます。わたしと友だちは、週に2回行っています。それだけ行くことで、十級から八級まであがりました。その時、わたしはとってもうれしかったです。

そろばんの先生がおしえてくれたので、級もあがって計さんもはやくできるようになりました。これからも、もっともっと計さんをはやくするためにそろばんをつづきたいです。



友達への思い

尾野見小学校六年

いつも私にやさしく、面白い話をしてくれてありがとうございます。おそろく私は、りりかさんからの言葉は一生忘れないと思います。「友達やめようよ。」その一言にとでもびっくりしていたら、「親友になろう。」という言葉に泣きそうになってしまいました。こんな長い期間、ずっと仲良くしてくれた人はあなたが初めてだと思います。これからもいろんなことがあるかもしれませんが、平成フラミンゴさんや、フィッツィヤーズさんのような何十年もの仲になってくれたらとてもうれしいです。中学生になってもよろしくお願いします。

おうだんほどうのおばあちゃん

志布志小学校一年

まいあさ、がっこうのまえにたつて
「おはようございます。くるまがくるよ。」
と、おしえてくれるおばあちゃん。
おばあちゃんのかおをみるとあんしんします。
あさはやくから、たいへんだけど、みんなのいのちを、まもつてくれてありがとうございます。
ございます。

一人二人を大切に指導してくれる先生へ

志布志小学校四年

毎日暑い中指導してくれる先生方、ありがとうございます。
私は、警察官になりたいくて、人を守りたくて剣道を始めました。
これまでの試合で心に残っていることは、五人制の時、面が決まらなくてくやしい
思いをしたことです。ねらった技が決まるようにかくじつにけいこをしていきたいで
す。
先生方は、先輩や入ったばかりの私たちにも、一人一人にいていねいにたくさんのア
ドバイスをしてくれて、感しゃの気持ちでいっぱいです。
今日よりも明日、明日よりもあさつて、一日一日どんどん成長して、日本武道館を
めざします。これからもよろしくおねがいます。

安全を守ってくれてありがとう

志布志小学校四年

いつも朝私が登校するとき、ちゅう車場や横断歩道に立っていて、安全にわたれるように、ゆうどうしてくださる地いきの方々、ありがとうございます。雨の日も風の日も私たちのため休まず、いつもの場所に立ってくださっているのも私も安心できます。私たちも交通ルールをしっかり守って、元気に登下校したいです。これからもよろしくおねがいします。

囲ごの先生

志布志小学校六年

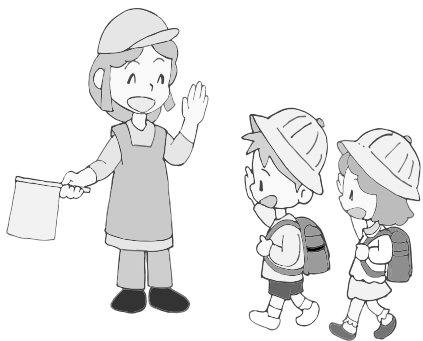
ぼくと毎週水曜日に、囲ごを打ってくれてありがとうございます。ぼくは、八級でとても弱かったけれど、今先生のおかげで七段になることができました。ぼくは、先生みたいに強くはないけれど、九州二位という力を出せています。ぼくは、ゆつくり考えて打つということができません。先生みたいに早く強いプロになりたいです。ぼくは、一級のころ先生に勝てませんでした。一段に上がったころうれしくて、先生に報告すると、

「もつと強くなれます。まだ喜んではいけません。」
といわれて、もつとがんばろうという気もちになりました。これからも、あきらめないで毎週指どうをおねがいします。

いつもみまもってくれてありがとう

香月小学校一年

あき、がつこうにいくとき、みまもりたいのひとたちが、おうだんほどのところにたってくれています。あめのひも、あついひも、まいにちわたしたちが、あんぜんにがつこうにいけるようにみまもってくれます。みまもりたいのひとたちにげんきにあいさつすると、わたしはげんきなきもちになって、いちにちがんばろうとおもいます。いつもみまもってくれてありがとうございます。



同じ鹿児島県に住んでいるけど私のことを覚えて毎日を通じてくれていたらうれしいです。私は、毎日あなたと会えなくてもあなたのことを思っています。たとえ、遠くはなれていても、いとこはいとこです。だから、悲しい時、くやしい時は、私を思い出してほしいです。

いつもありがとうございます

田之浦小学校六年

私は毎日学校がとても楽しいです。なぜなのでしょう。と考えた時に、思いうかぶのは、友達です。私の学年には女子が一人しかいないけど、男子の友達とても仲が良くて優しい友達や気の合う友達ばかりです。そんな身近な人にこそ、「いつもありがとう」という気持ち、伝えられていないと思います。毎日、毎日、学校に行って、勉強がつらいときも、休み時間などで友達とお話すると、つらい気持ちもなくなつて、逆にとでも楽しくなります。男子達は変顔で笑わせてくれたり、くだらない話で笑い合ったり、毎日がとても楽しくて、学校に行くのが私の楽しみの一つです。いつも、いつも、ありがとうございます。

大切な人に伝えたいぼくの思い

田之浦小学校六年

ぼくは、小学2年生のときに田之浦小に特認校生として転校してきた。1年生の時、「歩蓮くんは、ダイナミックな絵がすごいね」と、先生が言ってくれた。ぼくは、転校してもできると思えた。

田之浦小では、担任の先生が「すごいね」と声をかけてくれるので、不安なぼくには、すごく自信になる。今までずっと、ぼくに勇気をくれた。

そして6年生になった。ぼくは、この大きな勇気の盾を武器に、この調子で走り続けたい。ありがとう、ぼくに勇気をくれる先生。



あすか先生へ私の思い

伊崎田小学校四年

あすか先生、私のこと、覚えていますか？覚えてもらっていたらうれしいのですが、坂元ひよりです。昔、ほいく園のころに、たくさんお世話になりました。毎日、会うたびに、「ひよりちゃん!!おはよう!!」と言ってくれてとてもうれしかったです。アルバムに手書きで「ひよりちゃん、大きくなっても先生のこと、わすれないでね。」と書いてありました。それをこの前、読んだのですが、なみだが出てきました。あすか先生との思い出がよみがえってきました。最後に、「いつも一緒に遊んでくれてありがとう。」と書いてありました。本当に私を愛してくれたのがわかります。今でも見守ってくれてると感じています。

スクールガードの方へ

蓬原小学校二年

いつも、わたしたちのとう校を見まもってくださいって、ありがとうございます。あつい中やさむい中でも、わたしたちを見まもってくださいってありがとうございます。「おはようございます。」と、わたしは、先に元気な声で言うようにしています。なぜかというところ、スクールガードの方に、自分の元気なところを見せたいからです。今は、上学年の人たちにまもられながらかえています。これからは、わたしも下学年の子のおせわをしたり、見まもったりして、自分のことができることをがんばりたいです。

感しやの気持ち

有明小学校四年

私には、感しやを伝えたい人がいます。それは、近所のおじちゃんとおばちゃんです。学校帰りにおじちゃんとおばちゃんがいる時、私がいつもあいさつをすると、あいさつを返してくれます。わたしが帰りに会うと、「持って帰ってね。」と野菜をくれることがあります。おじちゃんとおばちゃんの畑で育ったしんなやかな野菜です。私はおじちゃんとおばちゃんと話したり、あいさつしたりする時に、とっても安心します。私は、おじちゃんとおばちゃんが大好きなので、もつと長生きしてほしいと思います。いつかいつしよに、おじちゃん、おばちゃんと野菜を育ててみたいです。



通山小学校のみなさんへ

通山小学校二年

通山のみなさんぼくのひっこしの日も近づいてきました。みんなとおわかれするところがさびしいです。ぼくはいそ一小学校に行きます。本当にかんしゃしてます。あそんでくれたり、いっしょにまなんだり、時には、けんかをして楽しい時をすごしていました。ぼくがひっこししてもがんばってください。

いつも見守ってくれる地いきの人へ

通山小学校五年

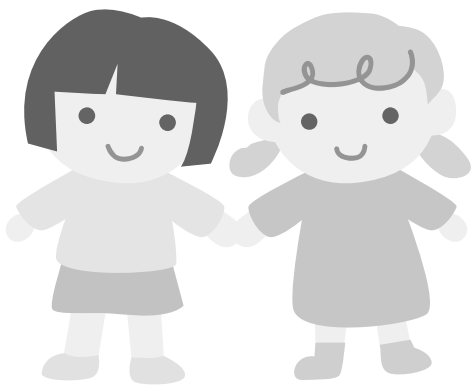
いつも横だんほどうの所で、はたを持っているおじさん。私達は、おじさんのおかげでいつも安心して登校できます。友達がころんだときも、すぐにかけてきて、「だいじょうぶ。走るとあぶないよ。」と声をかけてくれました。車が来てあぶない時は、はたを持って

「わたっていいよ」と言ってくれます。いつも早おきして私達が安全に登校できるよに見守ってくれて、ありがとうございます。

だいすきなともだち、ありがとう

原田小学校一年

わたしには、だいすきなともだちがいます。わたしがうわぎのぼたんをかけられなくてこまっていると、ともだちがすぐにやってきてつだってくれます。やすみじかに、わたしがひとりでいるともだちがやってきて「パズルでいっしょにあそぼう。」といってくれます。だから、わたしは、ともだちがだいすきです。ともだちがいるからがっこうがたのしいです。きょうから2がつきはじまります。2がつきもなかよくしようね。



わたしのしょうらいの夢は、図書館のし書です。わたしはお母さんに志布志図書館によくつれて行ってもらいます。その時、し書の方が本をかしかりするためにボードを読み取っているのを見て、「わたしもこういう仕事をやってみたいな。」と思いました。し書の方は、読み聞かせもしてくれます、読む時、登場人物の声にしながら読んでいて、「すごいな。」と思いました。ある日、図書館の方にボランティアで読み聞かせをたのまれたことがあって、わたしが本を読みました。ドキドキしたけれど、保育園の子達が面白い場面でわらってくれたので、やって良かったです。し書になれるようにべん強をがんばります。

友

志布志中学校二年

私には、気をつかわず、本当の自分の姿を見せることができる友が二人いる。その二人は、小学生のときから仲がいい。私は、基本的に誰とでも話せる性格をしている。そのため、この二人とは、すぐに仲良くなることができた。でも、よくけんかをしてみんな傷ついてしまい、意地を張ってなかなか素直になれなくて、仲直りをするまで時間がかかってしまうこともよくある。

でも、そのおかげで今は、けんかすることも減って、毎日三人で大笑いしてすごせるようになった。

来年は受験生だ。みんなと同じ高校に進学しても、別々の高校に進学したとしても、今までどおり、仲良しの三人でいたいと思う。

僕たちに対しての熱い指導

志布志中学校二年

僕はソフトボールをしている。監督はとても熱心な方だ。いつも監督は練習の前に、学校生活の事を聞く。なぜ聞くのかなと思っていたが、最近わかるようになった。それは、僕たちの将来を見据えていたのだ。ソフトボールを極めるには、生活態度からなのだよと言っている。監督は、僕たちに悪い大人にはなつてほしくないと思っているのだらうと僕は考えた。

監督の熱心な気持ちを受けとめ、二学期からの授業態度、提出物を少しづつ改善していくことにした。小学校からのつながりがあり、一ヶ月に一回程度ピッチングも教えてもらってきた。だから、いつも監督への感謝の気持ちをもってプレーしていきたいと思う。

感謝しかない

志布志中学校二年

私には、中学二年生でとても仲良くなった大切な友達があります。その友達は、とても頭がよくて、部活「バスケ」がとても上手です。部活のとき、分からないことがあり私が落ちこんでいると、なぐさめてくれるなど、いつも私のことを助けてくれます。私はいつも助けてもらうばかりで、何にも恩返しできていません。本当に、その友達には感謝がありません。何かしてあげたいけど、何にも行動にうつせない自分がとても情けないです。早く行動にうつし、情けない自分から抜け出したいです。

感謝してもしきれない

志布志中学校二年

弓道部の外部の先生として、人数が多く教えるのも難しく大変な仕事なのに、生徒に優しく分かりやすく考えて教えてくれる先生に感謝してもしきれない。先生のおかげで弓道ができて、弓道を好きになれたから、先生が教えてくれて良かった。これからは、先生の役に立てるように努力したいし、大会や練習で良い結果を出して先生を喜ばせられるようにがんばりたい。

八段

志布志中学校二年

私は、三年前から習字を習っています。先生は、「私のところで観峰賞取ったのは始めて。」や「段がスムーズに取れるなんてすごい。」とたくさんほめてくださいます。習字の上達が速いのも、楽しく字が書けるのも、すべて先生のおかげです。

スクールガードのおじちゃんおばちゃん

有明中学校二年

いつも私たちの通学を見守ってくださりありがとうございます。毎日朝早くから立ってくださいっています。私は毎日立ってくださいるスクールガードのおじちゃん、おばちゃんにあいさつをするのがすごく楽しみです。たまにはしゃべりかけてくれたりすごく朝からさわやかな気持ちになります。他にはすごく感謝しています。もしスクールガードのおじちゃん、おばちゃんがいなかったら事故など想像するし安心して通学ができません。ですが朝早くから私たちの通学を見守ってくれるのですごく安心して通学ができます。これからも元気で私たちの通学を見守ってください。毎日元気よくあいさつをします。

地域の方々のありがたみ

有明中学校三年

私はこの作文を書く時、地域の方々を思い出して、よく考えると色々感謝しないといけないと思いました。例えば、学校に行く途中、横断歩道に立ってあいさつをしてくれます。横断歩道を安全に渡れて、朝元気が出るのは地域の方々がいるからなんだと思います。そして、私の自治会ではクリスマス会や七夕、ラジオ体操などで触れ合いの場が多くて、すごく楽しかったです。自分が楽しめたことは周りの人が準備をしてくれたからだと思いました。これからも地域の人に感謝をしていきたいです。

チームメイトへ

有明中学校三年

三年間、最高の仲間達とバレーボールをすることができて本当に良かったです。ありがとうございます。苦しいときや悔しいときがあっても乗り越えることができたのは、皆のおかげです。キャプテンとして皆を引っばることは、難しかったけれど、皆のサポートのおかげでチームがまとまり、最後の一勝に繋がったと思います。このチームでの活動は終わってしまったけれど、これからは、それぞれの夢に向かって頑張ってください。応援しています。

練習の出来なかった四ヶ月間

有明中学校三年

弓道で優勝して全国大会へ行く。僕には、志を同じくする仲間がいた。腕を骨折し、弓道が出来なかった四ヶ月間も、毎日弓道場へ通い、仲間をサポートした。練習が出来ない悔しき、調子のよい仲間への焦り、いつ練習は出来るようになるのかからな不安。けがが治ってから、休みの日も弓道場へ行き練習した。全国大会へは届かなかった。しかし、手に麻痺が残り、思うように動けなかったとき、リハビリがきつかったとき、マイナスの気持ちに流されそうになったとき、踏みとどまることができたのは、志を同じくする仲間がいたからだ。



大親友へ

宇都中学校一年

元気にしてる？私はすごく元気だよ。小学校や中学校が違うけど、小四ぐらいの時に一回いっしょにごはん食べにいったよね。その時はものすごくたのしかった。あまりおもしろい話とかじゃなくても、今授業どころへんまですすんでるか、とかどうでもいい話をしてたね。次は、保育園メンバーと先生といっしょにしたいね。写真みせてもらったら、みんなふんいきとかが変わってだれかわからなかった。私だけふんいき変わってなかったのが悲しい。みんなあつまったら、みんなで恋バナとかしてみたね。みんなであつまれたらあつまろうね。

野球が楽しく思えるようになってくれたかんとく。

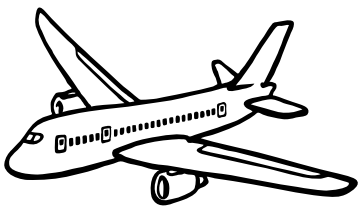
宇都中学校一年

僕には、恩師がいます。その人は、県選抜でのかんとくです。僕が、小学校六年生のとき、県選抜に選ばれました。最初は、分からないことばかりで、とまどっていたけれど、かんとくが、「自分にできることを一生懸命にすればいい。」と言ってくれたところがとても印象に残ったし、自信にもなりました。そのときから、練習を一生懸命にしていると、なんだかとても野球が楽しくなりました。かんとくのおかげで、野球が楽しくなり、自信も出てきました。かんとくと出会わなかったら今の自分がいないので、感謝でいっぱいです。ありがとうございました。

おじへ

宇都中学校一年

東京から鹿児島まで長い時間をかけて私たちに会いに来てくれてありがとう。仕事で忙しいのに私たちと遊んだり、遠くにつれて行ってくれたりしてありがとう。たくさん迷惑かけてごめんなさい。今は、毎日手伝いをしてるよ。手伝いは私が思っている以上に大変だけど、姉妹で頑張っています。これからは一人で料理したり、洗たく物がたためたりするよう頑張ります。また、お正月に遊びに来てね。お仕事も頑張っ



編集後記

関係者の皆様の御尽力により、『志の言の葉』（第三集）が完成しました。今回は、市内各小・中学校から選出された百四十七点を掲載することができました。

また、地域の方や保護者からのメッセージを募集したところ、十五点の応募があり、昨年度を上回る計百六十二点を掲載することができました。この『志の言の葉』は、日頃思っていることや感じていることを、今、誰かに伝えたいメッセージとして市内の児童生徒及び保護者に募集をしました。家族や先生、友人や地域の方など、身近な方に感謝の気持ちを伝える作品が多く掲載されています。

志布志市では、これからも、「きらり輝く三つのおしえ」として、一人一人のよさや「個性の伸長」とその融合の大切さを意味する『煮しめのおしえ』、練り上げることで姿が変わり持ち味が増す「確かな変容」を意味する『つけあげのおしえ』、握る人の温かみや一粒たりともおろそかにしない「感謝の心」を意味する『にぎりめしのおしえ』の具現化を目指し、様々な教育施策を展開してまいります。引き続き、ご理解とご支援をお願いいたします。

最後に、第三集の発行に当たり、ご協力いただいた学校関係者、並びに寄稿してくださった児童生徒及び保護者、地域の皆様から感謝申し上げます。

令和六年三月吉日
発行 志布志市教育委員会